

「静岡茶の輸出額100億円計画」コンソーシアム

BIOFACH・WTE 2025 出張報告

(本資料は出展者様の実ビジネスへの効果発現前の情報に基づく)

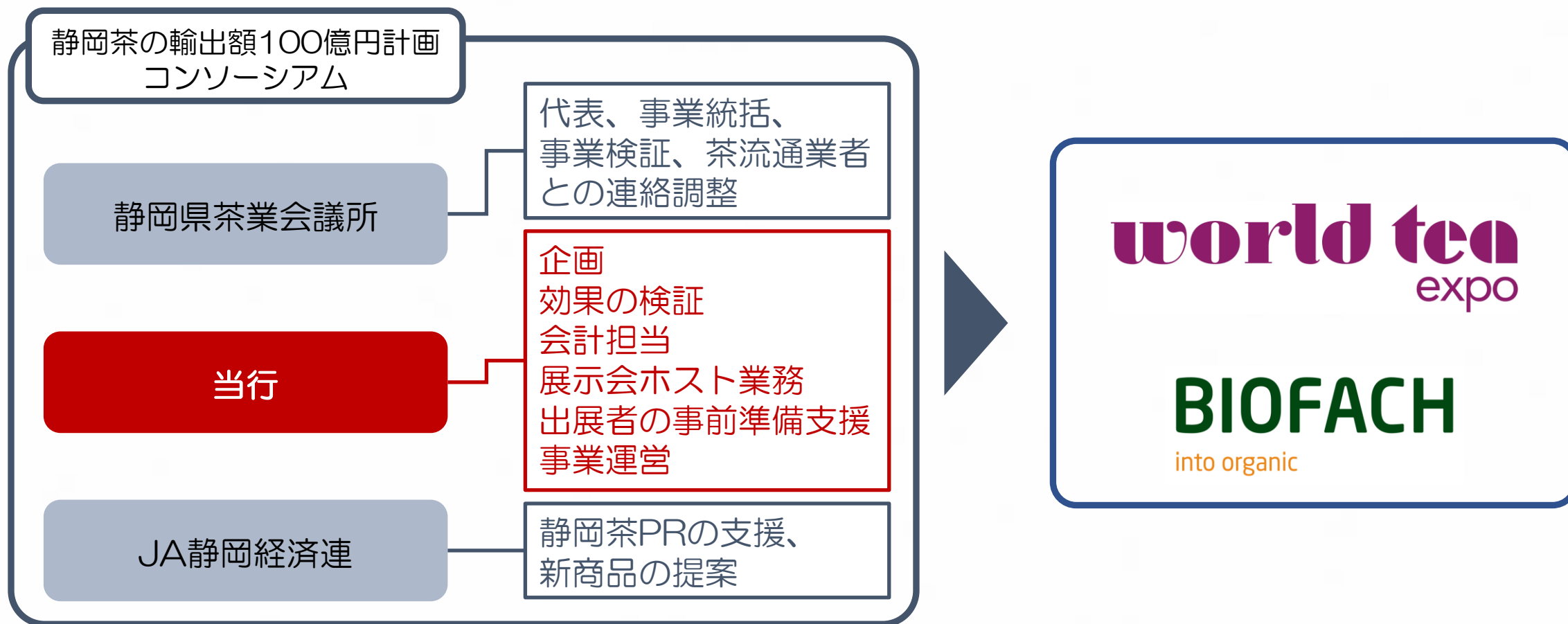


しずおかフィナンシャルグループ



「静岡茶の輸出額100億円計画」コンソーシアム

- 静岡県は、海外展示会への出展費用補助を目的に、2024年度補正予算10百万円を計上。
- 静岡県は、「静岡茶海外展開支援事業」の施策遂行を請け負うコンソーシアムを設立。





BIOFACHは独ニュルンベルグで開催される世界最大級のオーガニック食品^注専門見本市

■ 基本情報

- ✓ 出展対象品目： オーガニック食品からノンフードまで幅広い製品
- ✓ 主催者： Nuernberg Messe GmbH
- ✓ 日時： 2025年2月11日～14日（4日間）
- ✓ 場所： Messezentrum 1, 90471 Nuernberg, Germany

注：農薬や化学肥料を使用しない農林水産物やその加工方法

■ Tea capital, SHIZUOKAでの出展状況

- ✓ 単独出展： 静岡県内 茶業社様 計3社
- ✓ 当行による代理出展： 静岡県内 茶農家様 計3社

(ご参考)

- BIOFACH2024実績 来場者数：35,000人（128ヶ国）、出展社数：2,560社（94ヶ国）、展示面積：47,156 m²





BIOFACH2025②

■ 4社合計有効面談^注数： 150先

- ✓ A社： 有効面談50先（うち受注確定2先、金額40万円）
- ✓ B社： 同20先
- ✓ C社： 同30先
- ✓ 静岡銀行： 同50先

注：各社が今後実際にビジネスに繋がると判断した面談

■ BIOFACH2025における日本茶に対する需要は下記のとおり

- ✓ オーガニック抹茶の需要が旺盛かつ煎茶、玉露、ほうじ茶、ギャバ茶も関心高い
- ✓ BIOFACHバイヤーはEU全域を商圈とするホールセラー（卸売業者）の割合高く事業拡張への可能性強い（World Tea Expoはリテーラー、レストランの割合高い）
- ✓ 食品加工（エナジーバーなど飲料以外）向けに抹茶・緑茶調達目するバイヤー多い（一部にコスメ原料）



WTE2025

WTEはアメリカ・ラスベガスで開催される北米最大のお茶展示会 Bar and Restaurant Expoと併催開催

■ 基本情報

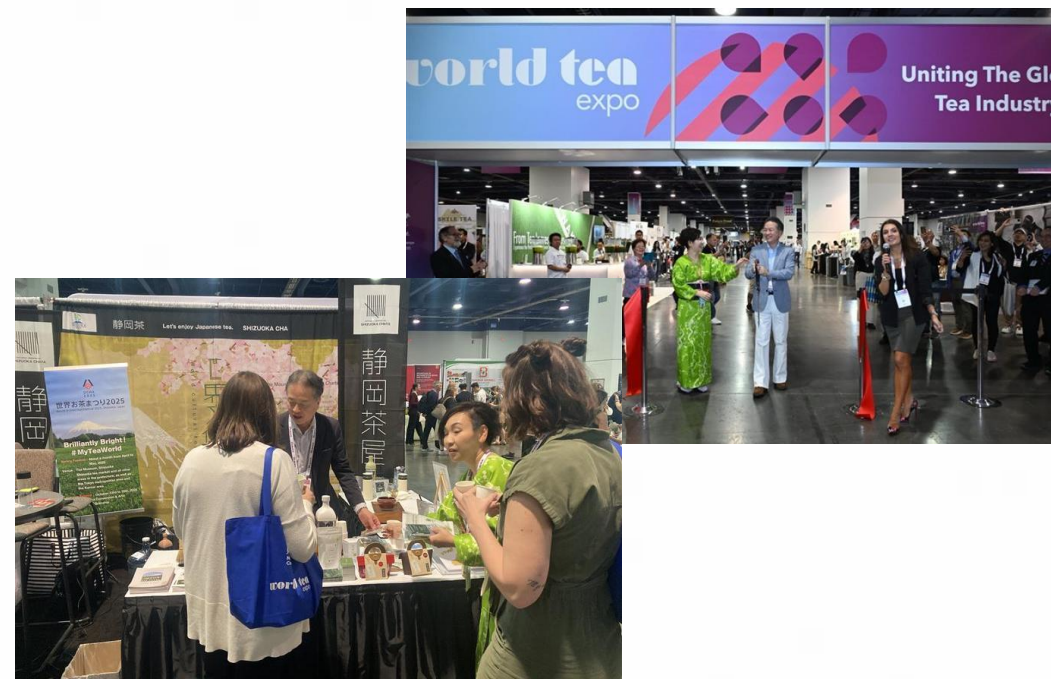
- ✓ 出展対象品目： 茶関連製品
- ✓ 主催者： Questex LLC
- ✓ 日時： 2025年3月24日～26日（3日間）
- ✓ 場所： LAS VEGAS CONVENTION CENTER

■ Tea capital, SHIZUOKAでの出展状況

- ✓ 単独出展： 静岡県内 茶業社様 計10社
- ✓ 当行による代理出展： 静岡県内 茶農家様 計4社

(ご参考)

- WTE2025実績 来場者数：10,984人、出展社数：100社以上（21ヶ国）





■ 10社合計有効面談^注数： 741先

- ✓ 各社ブース来場者の10～15%を有効面談と認識

注：各社が今後実際にビジネスに繋がると判断した面談

■ WTE2025における日本茶に対する需要は下記のとおり

- ✓ 抹茶需要は群を抜いている。プライスリスト、出荷可能量を聞いてくる茶関連事業者は昨年より多く、更なる需要拡大が伺えた。中国産から高品質な日本産への切り替え需要も多いことも背景にある。
- ✓ 同展示会には小売り、オンラインストア、レストラン関連のバイヤー多く、左記茶関連事業者は味・品種・価格において最高級品が求める傾向あり。
- ✓ 既に抹茶を取り扱う茶関連事業者は次なるヒット商品の調達を目指す。抹茶の次はほうじ茶が購入希望が多い。渋みがなく飲みやすいためリーフティーの中では一番人気。コーヒーに近い焙香が好まれている。



■BIOFACH、WTE 2026への継続出展を予定

- ✓ 静岡茶が鹿児島、宇治に劣後する実情踏まえ、静岡茶の露出を高めることが必要
- ✓ 県下茶農家を旺盛な海外需要と直接結び付け、静岡県下作付を海外需要に合致した構成への改植後押し（マーケットインの考え方）
 - ※抹茶または有機抹茶の県下生産力を強化することが静岡茶再興の鍵を握る
- ✓ 新たに日本茶事業を開始したい、欧州向け抹茶卸で高い市場シェアを有するD社（愛知県）にコスト、品質両面に不満ある現地関連事業者（欧州現地卸・小売り）が茶農家と直接取引を開始したい、等の現地需要を効率よく迅速に把握可能
- ✓ 海外市場へ向けた、静岡県リブランディングとの統合的な、静岡茶の露出強化